



2018年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 4393 URL http://www.boi.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO経営管理部長 (氏名)河内 三佳 (TEL) 03-4400-1817
 定時株主総会開催予定日 2018年12月21日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2018年12月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年9月期の業績(2017年10月1日~2018年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期	5,052	26.3	527	207.8	509	218.4	363	82.5
2017年9月期	4,001	74.0	171	—	159	—	199	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2018年9月期	99.98	98.91	44.3	19.2	10.4
2017年9月期	58.60	—	46.6	8.1	4.3

(参考) 持分法投資損益 2018年9月期 100万円 2017年9月期 100万円

- (注) 1. 当社は、2018年4月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 2017年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 2018年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2018年7月24日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、新規上場日から2018年9月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年9月期	2,811	1,112	39.6	285.66
2017年9月期	2,477	528	21.3	155.02

(参考) 自己資本 2018年9月期 1,112百万円 2017年9月期 526百万円

- (注) 当社は、2018年4月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年9月期	446	△34	297	1,845
2017年9月期	60	△58	185	1,136

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2017年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

2019年9月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年9月期	3,896,000 株	2017年9月期	3,396,000 株
② 期末自己株式数	2018年9月期	— 株	2017年9月期	— 株
③ 期中平均株式数	2018年9月期	3,633,150 株	2017年9月期	3,396,000 株

(注) 当社は、2018年4月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年9月期の業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、海外における通商問題の動向や経済の先行きなどについて懸念点が残されているものの、雇用・所得環境の改善をはじめ、緩やかな回復が続くことが期待されました。

当社の事業領域である日本国内のスマートフォンゲーム業界を取り巻く環境におきましては、市場の成熟化が進む中でユーザーの獲得に苦戦するメーカーも増える中、ヒットタイトルを中心に安定して推移いたしました。また、2017年頃から中国・韓国などの海外勢タイトルの躍進が続いており、日本市場でのシェアを伸ばしております。

このような事業環境のもと、当社は主に既存タイトルの拡大に取り組みました。「幻獣契約クリプトラクト」は、3周年大感謝祭や1,000万ダウンロード突破記念キャンペーン等を実施し、主力タイトルとして堅調な推移を見せました。「ミトラスフィア」も2017年8月のサービス開始以来、新規シナリオやアバターパーツの追加などを通して多くのユーザーの皆様にご遊んでいただき、500万ダウンロードを突破して1周年を迎えることができました。また、認知向上やユーザーとのエンゲージメントを高めるための施策として、他社IPとのコラボレーションや「ミトラスカフェ」並びにファンミーティングの開催などにも取り組みました。

以上の結果、当事業年度の売上高は5,052,275千円（前事業年度比26.3%増）、営業利益527,506千円（前事業年度比207.8%増）、経常利益509,042千円（前事業年度比218.4%増）、当期純利益に関しては363,242千円（前事業年度比82.5%増）となりました。

なお、当社はスマートフォンゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は2,811,415千円となり、前事業年度末に比べ334,072千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加734,121千円、売掛金の減少365,517千円によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は1,698,493千円となり、前事業年度末に比べ250,728千円減少いたしました。これは主に長期借入金の増加134,335千円、未払金の減少367,931千円によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は1,112,922千円となり、前事業年度末に比べ584,800千円増加いたしました。これは主に新株発行による資本金の増加111,620千円、同じく資本剰余金の増加111,620千円、当期純利益の計上による利益剰余金の増加363,242千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は446,205千円（前事業年度比386,044千円の増加）となりました。主な要因は、税引前当期純利益の計上509,042千円、売上債権の減少365,517千円、未払金の減少額367,931千円、法人税等の支払額54,100千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は34,545千円（前事業年度比24,382千円の減少）となりました。主な要因は、定期預金等の預入による支出43,000千円、定期預金等の払戻による収入18,200千円、有形固定資産の取得による支出4,636千円、敷金及び保証金の差入による支出5,318千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果得られた資金は297,663千円（前事業年度比112,334千円の増加）となりました。これは短期借入金の純減額58,230千円、長期借入金の純増額134,335千円、株式の発行による収入137,808千円、ストックオプションの行使による収入83,750千円によるものです。

(4) 今後の見通し

2019年9月期におきましては、引き続き、既存タイトルの長期運営並びに自社IPとしての育成を行いつつ、質の高い新作タイトルを開発・リリースすることが当社の企業価値を向上させる上での最重要課題であると認識しております。

そして、その考えを踏まえて2019年9月期は以下の取り組みを行うことを予定しております。

① 新作タイトルの開発

現在、RPGの新作2タイトルの開発に着手しておりますが、いずれも当社にとって新たな主力タイトルとなるよう、当社の品質基準に妥協することなく、より高い品質を目指しております。

なお、競争優位性を高めるという観点から、リリースの目途が立つまで(β版が完成するまで)は新作の情報開示は控えさせていただき、具体的なリリース時期等についてはIR並びにニュースリリース等でお知らせする方針であります。

② 既存タイトルのIP展開

当社は、より多くの方に楽しんでいただくとともに収益の多角化に繋げるため、PCや家庭用ゲーム機等のプラットフォームあるいは海外市場への進出等による既存タイトルのIP展開を図ってまいりたいと考えております。

③ スマートフォンゲーム事業以外の新規事業

当社は、今後、以下のようなスマートフォンゲーム事業以外の新規事業への進出を考えております。

現在、「ゲーム×サービス」及び「その他ITサービス」のプロトタイプ開発に取り組んでおり、スマートフォンゲーム同様に質の高いサービス開発を目指しております。

なお、業績予想については、2018年9月期における業績予想値の連続的な上方乖離並びに上記の取り組みに向けて機動的な投資判断を実施する観点から、具体的な予想値は非開示とさせていただきます。しかしながら、当社は上記の取り組みを通してさらなる成長を目指し、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能となった時点で速やかに開示してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準は日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、当社の事業における内部環境及び外部環境を考慮したうえで、適切な対応をとっていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2017年9月30日)	当事業年度 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,259,070	1,993,192
売掛金	965,957	600,440
前払費用	14,970	33,562
繰延税金資産	39,487	19,695
その他	15,801	24,223
流動資産合計	2,295,287	2,671,113
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,624	4,904
減価償却累計額	△2,945	△3,630
建物(純額)	1,678	1,273
工具、器具及び備品	12,375	16,732
減価償却累計額	△8,261	△11,077
工具、器具及び備品(純額)	4,114	5,654
有形固定資産合計	5,792	6,927
無形固定資産		
ソフトウェア	5,562	3,809
無形固定資産合計	5,562	3,809
投資その他の資産		
出資金	60	60
長期前払費用	2,444	3,533
繰延税金資産	74,116	35,934
敷金及び保証金	94,079	90,037
投資その他の資産合計	170,700	129,565
固定資産合計	182,055	140,302
資産合計	2,477,343	2,811,415

(単位：千円)

	前事業年度 (2017年9月30日)	当事業年度 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	208,230	150,000
1年内返済予定の長期借入金	560,337	508,750
未払金	732,828	364,896
未払費用	20,111	18,204
未払法人税等	45,238	80,043
未払消費税等	73,585	64,418
前受金	48,356	64,123
預り金	20,561	22,102
その他	16	76
流動負債合計	1,709,265	1,272,615
固定負債		
長期借入金	239,956	425,878
固定負債合計	239,956	425,878
負債合計	1,949,221	1,698,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,000	471,620
資本剰余金		
資本準備金	337,440	449,060
資本剰余金合計	337,440	449,060
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△171,001	192,241
利益剰余金合計	△171,001	192,241
株主資本合計	526,439	1,112,922
新株予約権	1,682	—
純資産合計	528,121	1,112,922
負債純資産合計	2,477,343	2,811,415

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
売上高	4,001,262	5,052,275
売上原価	2,469,799	2,902,569
売上総利益	1,531,462	2,149,705
販売費及び一般管理費	1,360,057	1,622,198
営業利益	171,405	527,506
営業外収益		
受取利息及び配当金	30	36
受取奨励金	300	—
物品売却益	276	155
還付加算金	104	—
その他	3	—
営業外収益合計	715	192
営業外費用		
支払利息	10,928	11,729
支払手数料	1,316	1,551
株式公開費用	—	5,375
その他	—	0
営業外費用合計	12,245	18,656
経常利益	159,876	509,042
特別損失		
関係会社清算損	2,067	—
特別損失合計	2,067	—
税引前当期純利益	157,808	509,042
法人税、住民税及び事業税	35,979	87,826
法人税等調整額	△77,188	57,973
法人税等合計	△41,209	145,799
当期純利益	199,018	363,242

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計			
当期首残高	360,000	337,440	337,440	△370,019	△370,019	327,421	1,682	329,103
当期変動額								
当期純利益				199,018	199,018	199,018		199,018
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)								
当期変動額合計				199,018	199,018	199,018		199,018
当期末残高	360,000	337,440	337,440	△171,001	△171,001	526,439	1,682	528,121

当事業年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計			
当期首残高	360,000	337,440	337,440	△171,001	△171,001	526,439	1,682	528,121
当期変動額								
新株の発行	68,904	68,904	68,904			137,808		137,808
新株の発行(新株予約権 の行使)	42,716	42,716	42,716			85,432		85,432
当期純利益				363,242	363,242	363,242		363,242
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)							△1,682	△1,682
当期変動額合計	111,620	111,620	111,620	363,242	363,242	586,483	△1,682	584,800
当期末残高	471,620	449,060	449,060	192,241	192,241	1,112,922	—	1,112,922

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	157,808	509,042
減価償却費	5,680	5,254
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,500	—
受取利息及び受取配当金	△30	△36
支払利息	10,928	11,729
関係会社清算損	2,067	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△702,180	365,517
未払金の増減額 (△は減少)	465,328	△367,931
未払費用の増減額 (△は減少)	9,213	△1,791
未払消費税等の増減額 (△は減少)	73,585	△9,166
前受金の増減額 (△は減少)	25,301	15,767
その他	19,140	△16,314
小計	64,343	512,069
利息及び配当金の受取額	30	36
利息の支払額	△10,816	△11,801
法人税等の支払額	△4	△54,100
法人税等の還付額	6,607	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,160	446,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△77,500	△43,000
定期預金等の払戻による収入	12,000	18,200
有形固定資産の取得による支出	△1,520	△4,636
敷金及び保証金の差入による支出	—	△5,318
敷金及び保証金の回収による収入	375	209
子会社の清算による収入	7,718	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,927	△34,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△442,607	△208,230
長期借入れによる収入	898,000	1,154,000
長期借入金の返済による支出	△570,064	△1,019,665
株式の発行による収入	—	137,808
ストックオプションの行使による収入	—	83,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,329	297,663
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	186,558	709,322
現金及び現金同等物の期首残高	949,811	1,136,370
現金及び現金同等物の期末残高	1,136,370	1,845,692

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はスマートフォンゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
1株当たり純資産額	155.02円	285.66円
1株当たり当期純利益	58.60円	99.98円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	98.91円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

2. 2018年3月27日開催の取締役会決議により、2018年4月28日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2016年10月1日 至 2017年9月30日)	当事業年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	199,018	363,242
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	199,018	363,242
普通株式の期中平均株式数(株)	3,396,000	3,633,150
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	39,320
(うち新株予約権(株))	—	(39,320)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権5種類(新株予約権の数405個)。	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。